

あらすじ	
私	K
幼なじみ	
<p>二十歳前に病気のために両親を失う。 遺産管理を託していた叔父に裏切られ、極度の人間不信に陥る。 遺産を整理して上京する。</p>	<p>真宗の寺の次男で、医者の家の養子になる。 「精進」を好み、偉くなるためにすべてを犠牲にする。</p>
同じ大学で学ぶ	
<p>下宿の奥さんとお嬢さんの世話になり、人間不信が静まる。 お嬢さんが好きになる。</p>	<p>大学で医学を学ばず、哲学を学んだために勘当される。 経済的に苦しく、神経衰弱に陥る。</p>
同じ下宿に引き取る	
<p>お嬢さんにKの親切にするように頼む Kに嫉妬する。</p>	<p>心が打ち解けていく。 お嬢さんと親しくなる。</p>
<p>Kの遺書 薄志弱行で行く先の望みがない。 何に対する意志の弱さか お嬢さんの名前だけはない。 もっと早く死ぬべきだった。 襖が開いていた。</p>	